

2025年4月

県内企業の景況意識調査

(第192回)

共同調査

大銀経済経営研究所

大分信用金庫

大分県産業創造機構

* 2025年 1～3月期〈I期〉の実績見込み

* 2025年 4～6月期〈II期〉の見通し

横ばい

今期（2025年1～3月期〈I期〉）の業況判断BSIは、前期比0.1ポイント上昇の▲11.2となった。業種別のBSIは『建設業』『卸・小売業』の2業種で改善、『製造業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』の4業種で悪化した。

今期の業況判断BSIは価格転嫁が浸透した卸・小売業で改善した一方、一部業種で業績不振が影響した製造業が前期比悪化しており、全体では横ばいとなった。

来期（2025年4～6月期〈II期〉）の業況判断BSIは、今期比8.7ポイント低下の▲19.9となる見通し。業種別のBSIは『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』の4業種で悪化、『建設業』『金融・不動産業』は今期比不変の見通しである。

来期については、商品価格上昇による需要の低下や住宅需要低迷などに対する懸念の声があり、業況判断BSIは悪化する見通し。

*2025年 1～3月期〈I期〉の実績見込み

製造業……………2期ぶりに悪化

卸・小売業……………卸売業はわずかに悪化、小売業は改善

建設業……………6期連続のマイナス水準

サービス業……………8期連続のプラス水準

横ばい

◎業況判断

【今期】 (2025年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI : ▲11.2 (前期比+ 0.1㊦)

<内訳>

- ・よくなった 9.3% (前期比▲ 3.2㊦)
- ・悪くなった 20.5% (前期比▲ 3.3㊦)
- ・変わらない 70.2% (前期比+ 6.5㊦)

<業種別>

- ・前期比改善 : 2業種 (『建設業』『卸・小売業』)
- ・前期比悪化 : 4業種 (『製造業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』)

今期の業況判断BSIは、価格転嫁が浸透した卸・小売業で改善した一方、一部業種で業績不振が影響した製造業が前期比悪化しており、全体では横ばいとなった。

【来期】 (2025年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI : ▲19.9 (今期比▲ 8.7㊦)

<内訳>

- ・よくなる 6.6% (今期比▲ 2.7㊦)
- ・悪くなる 26.5% (今期比+ 6.0㊦)
- ・変わらない 66.9% (今期比▲ 3.3㊦)

<業種別>

- ・今期比改善 : 0業種
- ・今期比悪化 : 4業種 (『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』)
- ・今期比不変 : 2業種 (『建設業』『金融・不動産業』)

来期については、商品価格上昇による需要の低下や住宅需要低迷などに対する懸念の声があり、業況判断BSIは悪化する見通し。なお、今期比改善を見込む業種がゼロとなったのは、第169回(2019年4～6月期)調査以来である。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ± 0.0 (前期比+ 4.1㊦)
4業種で改善

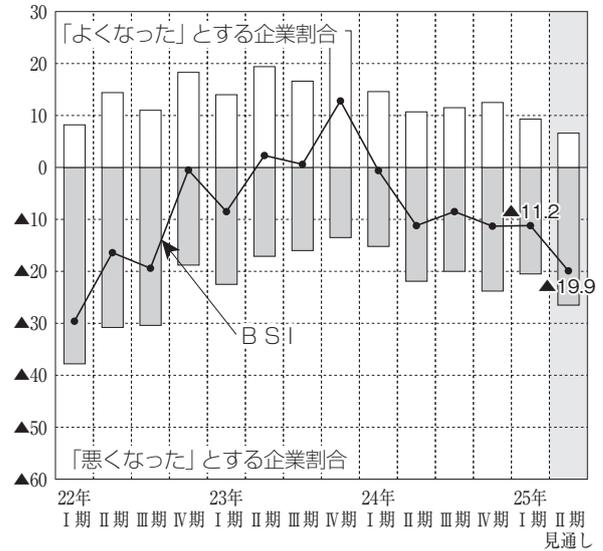
収益BSI : ▲ 7.3 (前期比+ 1.0㊦)
3業種で改善

【来期】

売上高BSI : ▲10.0 (今期比▲10.0㊦)
3業種で悪化見通し

収益BSI : ▲16.0 (今期比▲ 8.7㊦)
全業種で悪化見通し

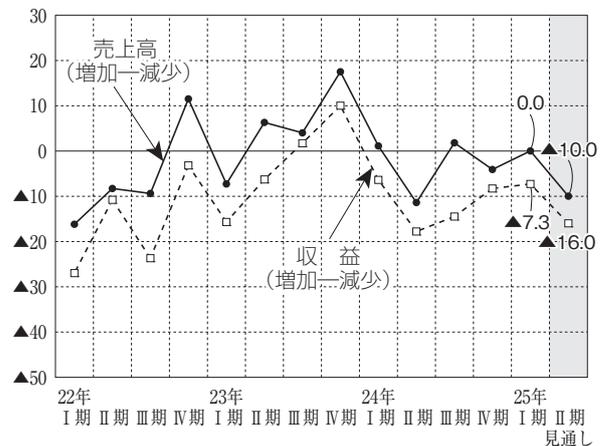
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2024年 III期	2024年 IV期	2025年 I期	2025年 II期見通し
建設業	▲10.5	▲14.3	▲10.0	▲10.0
製造業	▲20.3	▲11.4	▲14.0	▲22.0
卸・小売業	▲21.9	▲30.8	▲21.0	▲34.2
金融・不動産業	40.0	20.0	0.0	0.0
運輸業	15.4	0.0	▲ 9.1	▲18.2
サービス業	12.5	6.7	3.7	▲ 7.4
全産業	▲ 8.5	▲11.3	▲11.2	▲19.9

売上高と収益 (B S I)



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 3.4 (前期比 + 2.7ポイント)
 3業種で上昇
 雇用者数の現状 B S I : ▲ 40.0 (前期比 ▲ 2.6ポイント)
 3業種で低下

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 6.7 (今期比 ▲ 3.3ポイント)

◎経営上の問題点

- 1位: 「売上不振」(32.7%)
- 2位: 「原材料仕入価格高騰」(22.4%)
- 3位: 「人手不足」(16.3%)
- 4位: 「競争激化」「人件費増」(10.2%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は、『製造業』が32.7%と特に高い。「原材料仕入価格高騰」は『卸・小売業』で33.3%と最も高くなっている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 39.7% (前期比 ▲ 0.2ポイント)
 3業種で低下

<投資目的>

- 1位: 「補修・更新」(74.2%)
- 2位: 「生産能力の拡大・売上増加」(9.1%)
- 3位: 「合理化・省力化」(7.6%)

【来期】

実施予定企業の割合: 39.1% (今期比 ▲ 0.6ポイント)
 3業種で低下見通し

<投資目的>

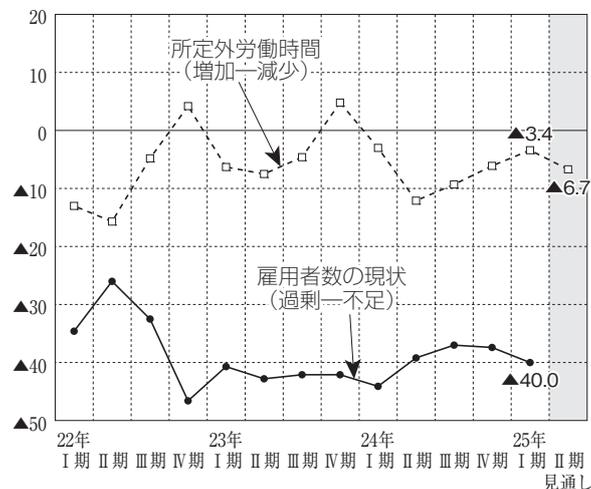
- 1位: 「補修・更新」(66.1%)
- 2位: 「生産能力の拡大・売上増加」(13.6%)
- 3位: 「合理化・省力化」(10.2%)

◎「令和7年度(2025年度)の採用予定」について

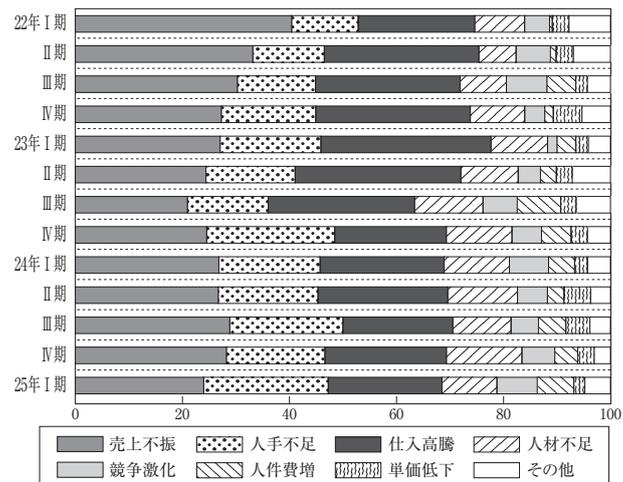
今回の調査において、「令和7年度(2025年度)の採用予定」について尋ねたところ、「新規卒業者の採用を予定」が41.7%、「中途採用を予定」が29.8%、「未定」が16.6%、「採用しない」が9.9%となった。

1年前の「令和6年度(2024年度)の採用予定」についての調査と比較して「中途採用を予定」が6.5ポイント増加、「未定」が3.2ポイント増加、「新規卒業者の採用を予定」が0.4ポイント増加した一方、「採用しない」が8.7ポイント減少した。

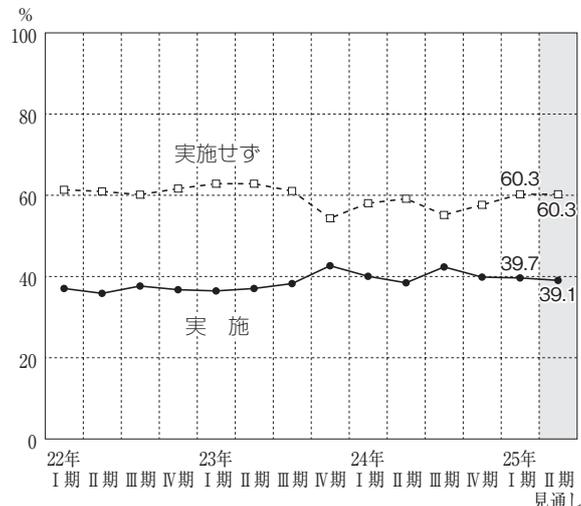
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



2期ぶりに悪化

◎業況判断

【今期】(2025年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲14.0 (前期比▲ 2.6㊦)

<内訳>

- ・よくなった 10.0% (前期比▲ 4.8㊦)
- ・悪くなった 24.0% (前期比▲ 2.2㊦)
- ・変わらない 66.0% (前期比+ 7.0㊦)

<業種別>

- ・前期比改善：3業種 (「鉄・非鉄金属」「機械」「食料品」)
- ・前期比悪化：4業種 (「石油・化学」「木材・家具」「印刷・出版」「その他」)
- ・前期比不変：1業種 (「窯業・土石」)

売上、収益ともに不振となった「印刷・出版」が悪化したほか、在庫調整のため操業率を低下させた「化学・石油」も軟調となり、全体の業況判断BSIも2期ぶりに悪化した。

【来期】(2025年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲22.0 (今期比▲ 8.0㊦)

<内訳>

- ・よくなる 8.0% (今期比▲ 2.0㊦)
- ・悪くなる 30.0% (今期比+ 6.0㊦)
- ・変わらない 62.0% (今期比▲ 4.0㊦)

<業種別>

- ・今期比改善：1業種 (「化学・石油」)
- ・今期比悪化：3業種 (「鉄・非鉄金属」「木材・家具」「印刷・出版」)
- ・今期比不変：4業種 (「機械」「食料品」「窯業・土石」「その他」)

住宅需要低迷により、「鉄・非鉄金属」が悪化する見通しであり、「印刷・出版」も引き続き低調な推移が見込まれていることから、全体の業況判断BSIは悪化する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 8.0 (前期比+ 0.2㊦)

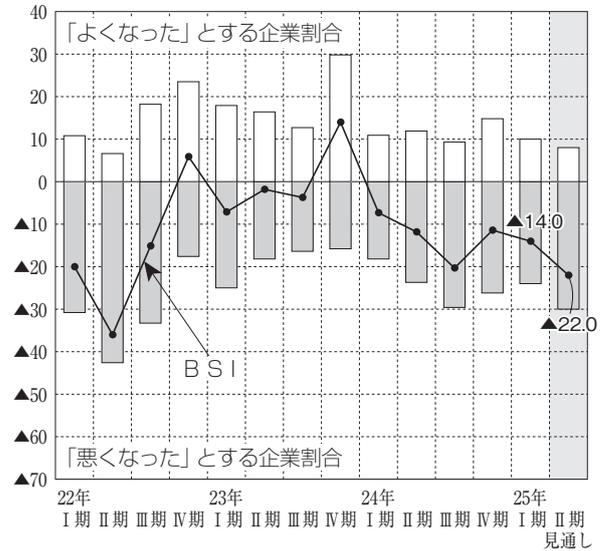
収益BSI：▲12.0 (前期比+ 2.7㊦)

【来期】

売上高BSI：▲10.0 (今期比▲ 2.0㊦)

収益BSI：▲14.0 (今期比▲ 2.0㊦)

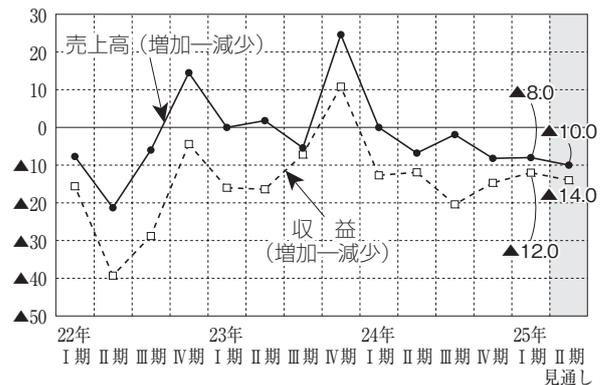
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2024年 III期	2024年 IV期	2025年 I期	2025年 II期見通し
化学・石油	▲25.0	11.1	▲14.3	0.0
鉄・非鉄金属	▲20.0	▲33.3	▲20.0	▲60.0
機 械	▲20.0	▲27.3	▲13.3	▲13.3
食 料 品	0.0	▲11.1	11.1	11.1
木材・家具	▲66.7	▲20.0	▲25.0	▲50.0
印刷・出版	▲25.0	50.0	▲20.0	▲60.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	0.0	0.0	▲66.7	▲66.7
製 造 業	▲20.3	▲11.4	▲14.0	▲22.0

売上高と収益 (B S I)



卸売業はわずかに悪化、小売業は改善

◎業況判断

【今期】(2025年1～3月期〈I期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲31.3(前期比▲1.3㊦)

<内訳>

- ・よくなった 0.0%(前期比▲5.0㊦)
- ・悪くなった 31.3%(前期比▲3.7㊦)
- ・変わらない 68.8%(前期比+8.8㊦)

『小売業』

業況判断BSI：▲13.7(前期比+17.9㊦)

<内訳>

- ・よくなった 13.6%(前期比+3.1㊦)
- ・悪くなった 27.3%(前期比▲14.8㊦)
- ・変わらない 59.1%(前期比+11.7㊦)

小売業は売上高BSI、収益BSIともに上昇し、業況判断BSIは改善した。仕入価格が上昇したが、価格転嫁できているとの声が聞かれた。

【来期】(2025年4～6月期〈II期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲37.5(今期比▲6.2㊦)

『小売業』

業況判断BSI：▲31.8(今期比▲18.1㊦)

業況判断BSIは卸売業、小売業ともに悪化の見通し。卸売業では、工事の減少による資材売上悪化を懸念する企業が見られた。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲26.6(前期比+3.4㊦)

収益BSI：▲20.0(前期比+5.0㊦)

【来期】

売上高BSI：▲40.0(今期比▲13.4㊦)

収益BSI：▲20.0(今期比±0.0㊦)

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+18.2(前期比+29.3㊦)

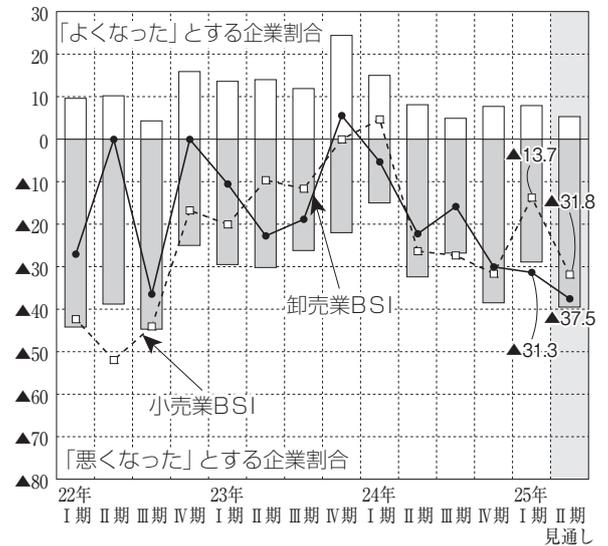
収益BSI：+9.1(前期比+31.3㊦)

【来期】

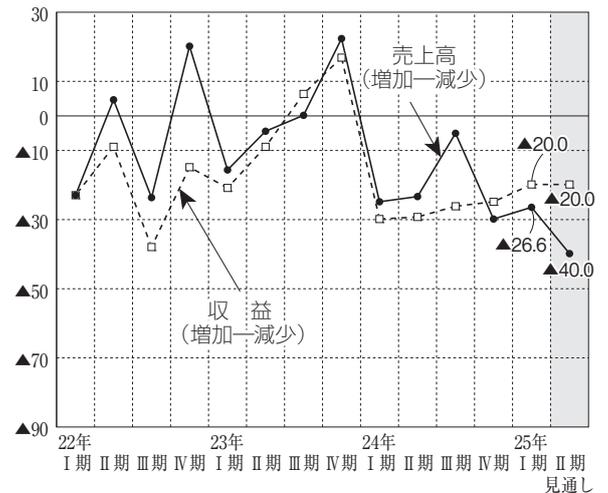
売上高BSI：▲18.2(今期比▲36.4㊦)

収益BSI：▲13.6(今期比▲22.7㊦)

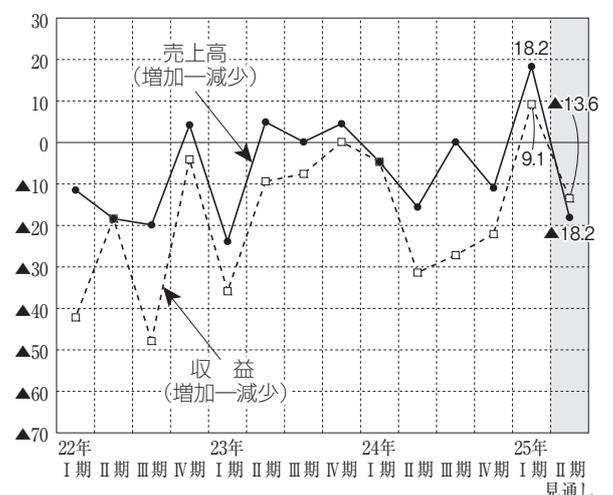
業況判断(BSI)



〔卸売業〕売上高と収益(BSI)



〔小売業〕売上高と収益(BSI)



6期連続のマイナス水準

◎業況判断

【今期】(2025年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲10.0 (前期比+ 4.3㊦)

<内訳>

- ・よくなった 0.0% (前期比± 0.0㊦)
- ・悪くなった 10.0% (前期比▲ 4.3㊦)
- ・変わらない 90.0% (前期比+ 4.3㊦)

4期連続で「よくなった」と回答した企業はなかった。前回調査に比べて、収益が減少したと回答する企業が増え、業況判断BSIは6期連続でマイナス水準となった。

【来期】(2025年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲10.0 (今期比± 0.0㊦)

<内訳>

- ・よくなる 5.0% (今期比+ 5.0㊦)
- ・悪くなる 15.0% (今期比+ 5.0㊦)
- ・変わらない 80.0% (今期比▲10.0㊦)

来期も引き続き好材料に乏しく、今期と比べて「変わらない」とする回答が大半を占めており、来期の業況判断BSIは今期と同水準になる見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 5.0 (前期比+ 9.2㊦)

収益BSI：▲25.0 (前期比▲20.2㊦)

【来期】

売上高BSI：▲ 5.0 (今期比± 0.0㊦)

収益BSI：▲30.0 (今期比▲ 5.0㊦)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲ 5.0 (前期比+ 4.5㊦)

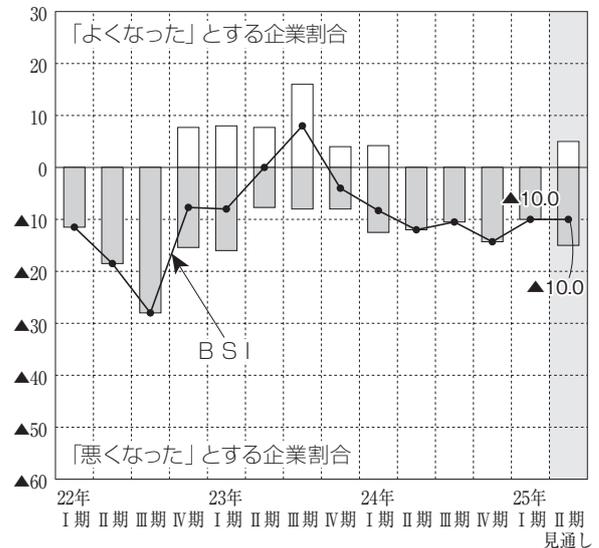
雇用者数の現状BSI：▲80.0 (前期比+ 5.7㊦)

【来期】

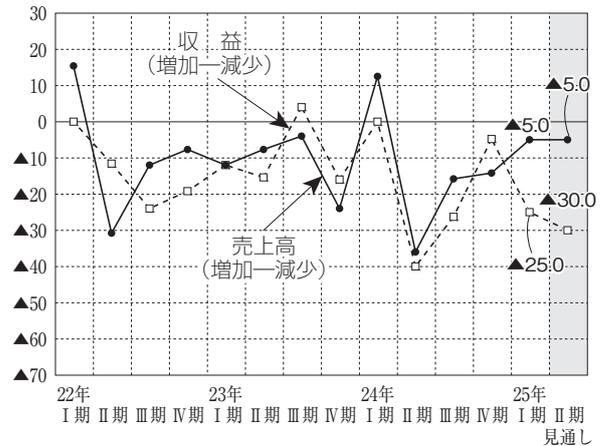
所定外労働時間BSI：▲15.0 (今期比▲10.0㊦)

雇用者数の現状BSIは、3期連続で過去最低水準となった。また、6割以上の企業が、1番の経営上の課題として人手不足・人材不足を挙げており、労働力不足は常態化している。

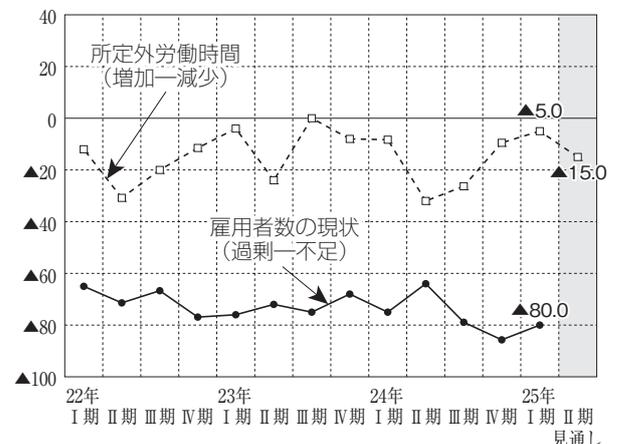
業況判断 (B S I)



売上高と収益 (B S I)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



8期連続のプラス水準

◎業況判断

【今期】(2025年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：+ 3.7 (前期比▲ 3.0ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 14.8% (前期比▲ 5.2ポイント)
- ・悪くなった 11.1% (前期比▲ 2.2ポイント)
- ・変わらない 74.1% (前期比+ 7.4ポイント)

業況判断BSIは前期と比較して悪化したものの、8期連続のプラス水準となった。

サービス業のうち観光関連の12社では、「よくなった」と回答した企業は前期比10.7ポイント減の25.0%、「悪くなった」と回答した企業は6.0ポイント減の8.3%となった。観光関連は、持ち直しのペースは鈍化しているものの、旺盛なインバウンドや底堅い国内客需要により、依然として好調である。

観光関連以外の15社では、「よくなった」と回答した企業は6.7%、「悪くなった」と回答した企業は13.3%だった。

【来期】(2025年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲ 7.4 (今期比▲11.1ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 11.1% (今期比▲ 3.7ポイント)
- ・悪くなる 18.5% (今期比+ 7.4ポイント)
- ・変わらない 70.4% (今期比▲ 3.7ポイント)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+18.5 (前期比+11.8ポイント)

収益BSI：+ 3.7 (前期比+ 7.0ポイント)

【来期】

売上高BSI：+ 3.7 (今期比▲14.8ポイント)

収益BSI：▲ 7.4 (今期比▲11.1ポイント)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

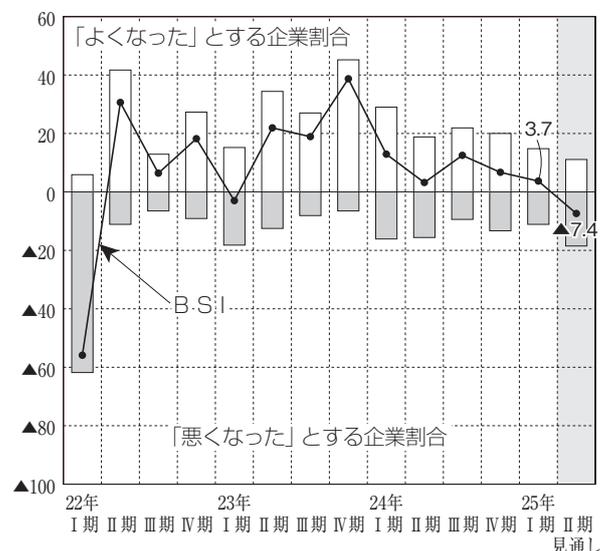
所定外労働時間BSI：± 0.0 (前期比▲ 6.7ポイント)

雇用者数の現状BSI：▲44.4 (前期比▲ 1.0ポイント)

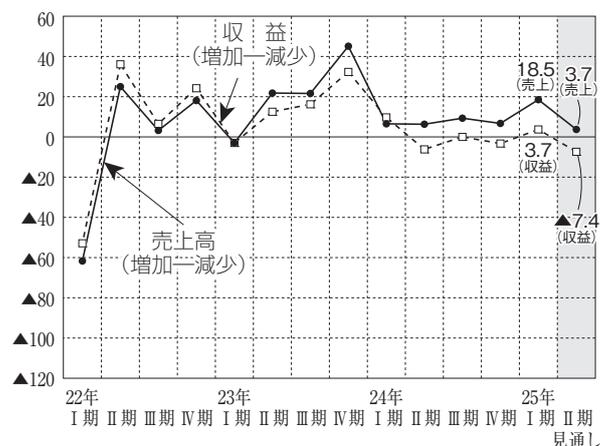
【来期】

所定外労働時間BSI：+ 3.7 (今期比+ 3.7ポイント)

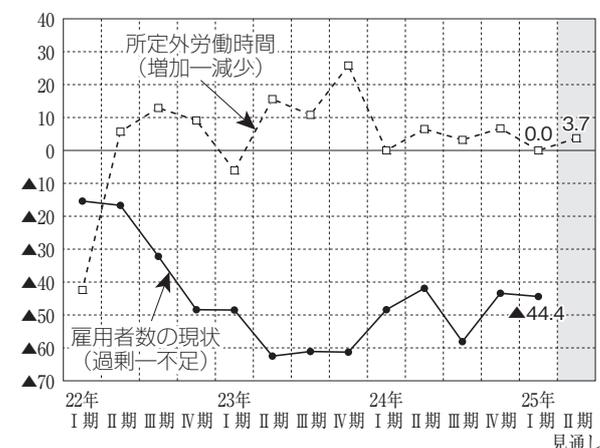
業況判断 (B S I)



売上高と収益 (B S I)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①〔よくなる〕+〔変わらない〕+〔悪くなる〕=100%とする

②〔変わらない〕の回答分を除く

③ $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2025年2月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業419社

◎回答企業数 151社

・回答率 36.0%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	4.6%
資本金1千万円～1億円未満	66.2%
資本金1億円以上	17.2%
無回答	11.9%